

# 葉栗連区 地域づくり協議会だより

## 2026年1月(111号)



葉栗 HP

発行日：2026年1月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

ホームページ：<https://138haguri.org>(スマホからは上記 QR コードより)

葉栗連区の人口と世帯数 <2025.12.1 現在> 人口 15,861 人 (男 7,742 人 女 8,119 人) 世帯数 6,967 世帯



新年のごあいさつ



葉栗連区地域づくり協議会会长 ・・・ 櫛田 慶鐘

“災害は 忘れる前に やってくる”

葉栗連区の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

一昨年1月1日午後4時10分に発生した能登半島地震は、私たちに多くの教訓を与えました。被災地では今もなお、多くの方が不自由な生活を強いられています。この大災害を忘れず、防災への意識を新たにする年頭としたいと思います。

災害から命を守るために、「自助」(自らの身は自分で守る)、「共助」(地域で助け合う)、「公助」(公的支援)の三要素が不可欠です。しかし、能登半島地震の経験から、大規模災害時には「公助」が被災地の隅々まで行き届くまでに大幅な遅延が生じ、また「自助」にも限界がある実態が明らかになりました。

だからこそ、今、最も重要視されるのが、地域住民の皆さんの力を結集した「共助」、その要となる自主防災会の活動です。

今後懸念されている南海トラフ巨大地震や伊勢湾台風級の超大型台風、線状降水帯によるゲリラ豪雨災害など、私たちの地域を取り巻く自然災害のリスクは高まる一方です。これらに対応するためには、地域全体で十分な備えと万全の体制を構築することが急務です。

葉栗連区地域づくり協議会は、連区内の自主防災会の更なる充実を図るため、今年度も引き続き、防災備蓄品の購入助成などの各種支援を実施してまいります。皆さまの安全と安心を守るため、地域防災力の強化に邁進していく決意です。

皆さまの今年一年のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



葉栗連区連区長 ・・・・・・・・ 丹羽 祐輔

葉栗連区の皆さん、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、地域づくり協議会 櫛田会長をはじめ、各種団体の皆さまの多大なるご協力のおかげで、地域イベントでのボランティア活動を活発に推進することができました。特に、葉栗中学校には、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、現在の葉栗連区は、65歳以上の高齢者の方の割合が3割を超え、一宮市23連区の中で5番目に高い状況です。このような状況だからこそ、未来の地域を担う若い力がますます重要になります。

私たちは、今後も中学生や高校生の地域ボランティアへの参加を促進し、若い世代の方々が地域活動に興味と関心を持っていただけるよう働きかけることが、よりよい地域づくりに繋がると考えます。

活力ある地域を築くためには、若い世代との交流を深め、元気な高齢者の方々と一緒に活動していくことが不可欠です。そのために、町内・連区活動の積極的な情報発信や、ボランティア登録の電子化などを進めていきたいと思います。

私たちが目指すのは、『子どもたちが楽しく学び成長できる葉栗』そして『高齢者の方々が生き生きと元気に過ごせる葉栗』です。

本年も、皆さまが心から誇れる葉栗連区となるよう、各町内会長、地域づくり協議会の皆さん、そして各種団体の方々と心を一つに、全力で取り組んでまいります。

皆さまにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます

